

**【人権啓発センター保管 DVD一覧 ☎：0795-82-0242】**

番号	ジャンル	タイトル	内容	形式	時間	DVD 活用 ガイド	制作年
1	部落差別(同和問題)	大切なひと	現代社会におけるインターネットは利便性が高く、SNSや動画投稿サイトなどを通して自由に意見表明することができるのが特徴です。一方で、インターネット上では他者からの評価が自身の評価と誤認し、部落差別・外国人差別といった偏見や差別を助長するような情報を発信する行為がみられます。ときに投稿者自身も第三者から誹謗中傷を受けることがあり、現在深刻な人権問題となっています。 インターネット上の一部の情報が、誤った差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。	実写	34分	○	2023 R5年度 新着
2	人権全般	言葉があるから…	「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。しかしながら、普段そのことを当たり前のように理解しているつもりでも、家族や友人、同僚などの近く親しい関係性においては、相手を一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまうことがあります。 あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション(小さな攻撃性)」。その言葉の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。 自覚なく加害者にならないために……、属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さを、このドラマでは描いています。職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとして役立てください。	実写	31分	○	2023 R5年度 新着
3	性的マイノリティの人権	パースデイ	今回の作品のテーマは、「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」です。 性的少数者については、依然として社会理解が進まず、偏見や差別、配慮に欠けた対応などで、自身の思いや悩みを打ち明けることが難しく、周囲の無理解に苦悩し、生きづらさを感じている状況など様々な問題があり、深刻な人権問題になっています。一方、性的少数者であることを打ち明けた家族や友人等は、既成概念による偏見や知識不足によって、理解しようとする前に混乱や抵抗感にとらわれてしまうことが多くあります。 性の在り方は多様で一人ひとりの人権に関わることであるため、性的少数者の存在や悩みに気づくことが大切です。この作品を性的少数者について理解するきっかけとし、その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人が自分らしく生きていける社会につながっていきます。そのような社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。	実写	37分	○	2022 R5年度 新着
4	障がいのある人の人権	知りたいあなたのこと:外見からはわからない障害・病気を抱える人	外見からはわからない障害や病気を抱えながら日常生活を送っている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障害や病気が周囲に理解されず、辛い思いをすることもあるといえます。この作品では、2人の難病患者さんと、てんかんと発達障害をもつ大学生を取材しました。どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか。外見からはわからない障害や病気を抱える人の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えてゆく内容です。	実写	21分		2019 R5年度 新着
5	部落差別(同和問題)	部落の心を伝えたいシリーズ 第31巻 ありのまま生きる～坂田愛梨・瑠梨～	愛梨(25)・瑠梨(24)、7年ぶり2度目の登場。母から受け継いだ「ありのままに生きる覚悟」。就職・結婚・出産を経た今、伝えるべきことは？ 仲間、つながり…部落問題をはじめとする人権問題を考えることが「生きる力」を育んだ。	実写	24分		2017 R5年度 新着
6	子ども・若者の人権	夕焼け	今回の作品のテーマは、「ケアラー～だれもが人権尊重される社会を～」です。 相手が家族や親しい人であっても、毎日誰かの介護や世話をすることは、身体的、精神的、さらに経済的にも大きな負担がかかります。特にヤングケアラーは、学校に通い、教育を受け、友人と交流を通して成長する重要な時期であるにもかかわらず、その状況が周囲から見過ごされることが多いという問題があります。 主人公、瑠依は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族であるのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。しかし、元ケアラーの灯との交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。この作品では、お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことが、ケアラーと家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。 ケアは、他人事ではありません。だれもがケアする側にもケアされる側にもなります。年齢属性を問わず、共に助け合える『だれもが人権尊重される社会』の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。	実写	35分	○	2021
7	部落差別(同和問題)	部落の心を伝えたいシリーズ 第33巻 12年後の決断～吉岡綾～	第12巻「若い力は今」から12年。その間、綾さんは結婚し、生活環境も激変した。二人のこどもに部落についてどう伝えるべきか、母としての不安、揺れ動く気持ちを赤裸々に語る。心を蝕むリアルな部落差別が、ここにある。11年連れ添う夫、敬愛する義父、信頼する先輩、見守る母親…綾さんを取り巻く人々の含蓄ある言葉の数々が深く温かく胸に響く。	実写	28分		2021

番号	ジャンル	タイトル	内容	形式	時間	DVD活用ガイド	制作年
8	人権全般	家庭からふりかえる人権:話せてよかった	人がそれぞれに持っている価値観の違いを認めて、相手を大切に思うことは、「人権」の基本的な考え方です。そして「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。普段そのことを当たり前のように理解しているつもりでも、夫婦や親子のような近く親しい関係性においては、相手を、そして自分自身を、一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまうことがあります。 本作では、日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案します。家庭の人間関係は、私たちの人権意識を育む基盤です。そこからふりかえることで、組織や社会における意識も見つめ直すことができるのではないのでしょうか。自分の中にある思い込みに気づき、自分も相手も尊重する人間関係を築くために、職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。	実写	27分		2020
9	その他の人権課題	カンパニユラの夢	近年、主に「80代」の高齢の親が「50代」のひきこもりが長期化した子を支えている家庭が増加しています。「8050問題」とは、こうした過程が地域社会との接点を失い、親子ともども生活が困窮するなどの課題を抱え、将来への展望が見いだせない超高齢化社会における新たな社会問題のことです。 背景には、家族や本人の病気、親の介護、離職(リストラ)、経済的困窮、人間関係など、複合的な課題を抱えながらも、親子共倒れの問題が発生するまでSOSの声を上げることができない、現在の超高齢化社会における「家族の孤立」が地域に潜在化していることがあります。 この作品は、二つの家族の視点が進行します。主人公の岸本麻帆はあることをきっかけに「ひきこもり」は誰にでも起こり得ることだと気づきます。一方、20年以上ひきこもり状態にある谷口誠一とその両親は問題が長期化する中で、解決の糸口すら見いだせないまま苦悩しています。麻帆は谷口家の抱える問題に寄り添い、解決策を求め行動を起こします。 急速に高齢化が進む今、8050問題は誰にでも起こりうるものと認識し、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす人権ドラマです。	実写	36分	○	2021
10	部落差別(同和問題)	お互いを活かしあうための人権シリーズ③ 今そこにいる人と、しっかり出会う —同和問題—	同和問題はわが国固有の人権問題であり、日本の長い歴史の発展の中で形作られた身分差別によって形成されたものです。本作では同和問題について理解を深めると同時に、同和問題をモチーフに人と人がしっかり出会い、差別とどう向き合っていくかについてのヒントとなる作品です。	実写	24分		2021
11	高齢者の人権	はじめて認知症の人に接するあなたへ (高校生～一般向け)	認知症の人に出会ったとき、どのように接すればよいのでしょうか。この教材は、認知症について初めて学ぶ方々を対象としたものです。認知症とはなにかという正しい知識、そして、認知症の人への接し方の基本という2つの内容に絞り、誰にでもわかりやすく解説します。	実写	19分		2021
12	感染症患者等の人権	ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～	ハンセン病問題に関する理解を深め、偏見や差別のない社会の実現について考えるための人権啓発動画です。隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。	アニメ	35分	○	2021
13	外国人の人権	サラーマット ～あなたの言葉で～	この作品の主人公・珠美は、新しく職場に来たフィリピン人のミランダに対し、様々な「違い」を「壁」だと捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考えを持つミランダとの対立や交流を通して、珠美は新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。珠美とミランダの姿を通して外国人は「受け入れてあげる存在」でも「労働力」でもなく、助け合うことのできる対等な仲間であること、SNSを傷つけるための道具としてでなく、人の心と心をつないでいくために利用する様子を描きます。 「違い」は壁ではなく、自分自身を成長させ、地域を豊かにする源です。異なる文化の人たちを、共に未来をつくる新しい存在として、尊重し、互いに高め合っていく。そんな多文化共生社会の実現をめざす啓発ドラマです。	実写	36分	○	2019
14	部落差別(同和問題)	部落の心を伝えたいシリーズ 第32巻 ネット差別を許すな!～川口泰司～	ネット上では部落問題についてのデマや偏見、差別情報が氾濫し、差別変動が進行しています。いまやそっとしておけば自然になくなる「寝た子を起こすな」論は通用せず、「寝た子はネットで起こされる時代」になっています。ネット上の部落問題について「無知・無理解・無関心」な人ほど、デマや偏見を鵜呑みにしています。ネット社会の危険性を知り、そして正しい知識を身につけていく必要のための教材です。	実写	28分		2019

番号	ジャンル	タイトル	内 容	形式	時間	DVD 活用 ガイド	制作年
15	部落差別(同和問題)	映像で学ぶ 部落差別解消推進法	2016年12月16日に施行された「部落差別の解消の推進に関する法律(以下、部落差別解消推進法)」を地域、学校、職場などで、より深く学ぶための教材。内容は、①「部落差別解消推進法」の制定と部落差別の現在、②「部落差別解消推進法」の法的意義と活用方法、③「部落差別解消推進法」の条例化と私たちの役割、の三部により構成されている。	実写	各 15分		2019
16	性的マイノリティの人権	みんなで考えるLGBTs ①いろいろな性～好きになる性～	異性を好きになるのか、同性・両性を好きになるか、あるいは誰にも恋愛感情を抱かないといった性的指向は嗜好や志向とは異なる「指向」であり、本人が選択できるものではないと考えられています。本巻は、同性愛者(ゲイ、レズビアン)である生徒たちのドラマを見ながら、好きになる性の多様性について考える映像教材です。	実写	23分	○	2019
17	性的マイノリティの人権	みんなで考えるLGBTs ②いろいろな性～心の性・表現する性～	体の性と心の性が異なるトランスジェンダー、男でも女でもない自認するXジェンダー、自身の性自認に揺れ動くクエスチョニング・・・、心の性、表現する性は実に多種多様です。近年は学校などにおける多目的トイレの設置や男女共用制服の整備など、徐々に教育現場でも取り組まれてきています。自分が何者であるかという戸惑いや揺らぎを経験する生徒たちの物語を見て、心の性や表現する性について考えます。	実写	19分	○	2019
18	子ども・若者の人権	君が、いるから	母親からの心理的虐待に悩む若者「奏」が主人公です。生き方を制限され、自分が愛されていると感じることができず自己肯定感の低い彼女も、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。彼女は、そこで出会う人々とのふれあいを通して新たな価値観に気づいていきます。ともに心を通わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」があることを奏の成長を通して描いています。子どもや若者が社会的に成長し自立していくために、人と人が関わり支え合いながら希望の種をまいていく、そんな社会の実現をめざす作品です。	実写	33分	○	2018
19	障がいのある人の人権	気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ5 「お互いの本当が伝わる時－障害者－」	雇用分野に関して改正障害者雇用促進法が、雇用以外の方針に関して障害者差別解消法がそれぞれ施行され、事業者・事業主に対して、障害者に対する「正当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供義務」が定められました。しかしながら、障害のある人に対する差別は解消されたとは言えず、また、自分が意図せずとも相手を傷つけているケースも少なくありません。「障害のある人をどう手助けすればいいのかわからない」という声をよく耳にします。障害のある人が、どんな場面で困っているのか、どんな「バリア」があるのかなどの具体例を挙げ、それをどう取り除いていけばいいの、また障害のある人から発信することの重要性も示しています。「障害のあるなしに関わらず皆で共生していくためにはどうすればいいの」を考える作品です。	実写	24分	○	2018
20	職場における人権問題	気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ6 「わからないから、確かめ合おうコミュニケーション」	昨今、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、不当な差別など、企業が関わる様々な「人権問題」がメディア等で大きく取り上げられます。こうした人権問題への対応は、時として、企業の価値に大きく関わります。そのため、企業の社会的責任(CSR)や社会的責任投資(SRI)に対する関心の高まりと相まって、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に取り入れたり、職場内で人権に関する研修を行う企業も増えてきています。ハラスメントや差別的取扱いなど、多くの日本企業が直面する可能性が高いテーマを中心に取り上げ、それらに共通する解決策として、「コミュニケーション」を提示しています。	実写	29分	○	2018
21	障がいのある人の人権	障害のある人と人権 誰もが住みよい社会をつくるために	ユニバーサル社会とは、障害の有無にかかわらず、女性も男性も、高齢者も若者も、全ての人がお互いの人権や尊厳を大切に、支え合い、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる社会のことです。障害のある人もない人も誰もが住みよいユニバーサル社会をつくるためにはどうしたら良いのでしょうか。このビデオは、障害のある人が直面する人権問題やその問題を解決するための取組などを具体的に紹介し、「障害のある人と人権」について考えてもらうことを目的としています。	実写	33分	○	2017
22	部落差別(同和問題)	ともに生きる私たちの未来「部落差別解消推進法」がめざすもの	「部落差別解消推進法」ができた背景の現実社会とネット上で起きている新たな差別実態を明らかにする一方で、被差別部落にルーツを持つことに誇りと自信を持って活動する若者たちを紹介しています。この二つの視点から、ネット社会の中で新たな局面を迎えている「部落問題」について考え、「ともに生きる社会」をどう実現していくのか、私たち一人ひとりに問いかける作品です。	実写	38分		2017

番号	ジャンル	タイトル	内 容	形式	時間	DVD 活用 ガイド	制作年
23	部落差別(同和問題)	気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ1 「そんなの気にしない-同和問題-」	タイトルの「そんなの気にしない」は、親友に自分が同和地区出身だということを告白したときに返ってきた言葉です。告白したほうは、相手にもっと知って欲しかった。告白されたほうは相手が、そのままの相手でも変わらないことを伝えなかった。しかし、その一言がきっかけで二人はすれ違っていきます。プラスのイメージを持っていることに、人は「気にしない」とは言いません。「気にしない」という言葉の底には、このことをマイナスに見る意識があるのかもしれない。私たちが普段なにげなく使う言葉や態度のなかには、相手を傷つけるものがあるかもしれない。そして壁を乗り越えるのもまた、相手を信じる力だということを伝える作品です。	実写	17分	○	2016
24	性的マイノリティの人権	気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ4 「誰もがその人らしく-LGBT-」	LGBTの人たちに対する社会の偏見はまだ強く、存在していてもなかなか見えない、その存在を見だしにくいのが現状です。 この作品は、主人公の周りにいたけれども見えなかったLGBT(性的少数者)の人たちが見えてくるストーリーです。	実写	20分		2017
25	子ども・若者の人権/インターネットによる人権侵害	「子供防犯スクール ネット・SNSトラブル編」	家族や友達と気軽にコミュニケーションがとれるSNSの機能を持った様々なアプリやネットサービスは、今や子供達にとっても必要不可欠な存在となっています。しかしその一方で、その便利なはずのツールが援助交際やイジメなど犯罪の芽となっています。ネットやSNSにまつわるトラブルから子供たちを守ることに、子ども、保護者、教員が一緒に学べる作品です。	実写	25分		2017
26	職場における人権問題	企業と人権 職場からつくる人権尊重社会	近年、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、さらには様々な差別に関わる問題などが社会の注目を集めています。 このビデオは、企業活動で直面する人権課題に関する事例を映像化し、企業における研修会等で活用することにより人権尊重意識の普及高揚を図ることを目的としています。	実写	40分	○	2017
27	女性の人権/職場における人権問題	出産・育児への理解がない ～職場のマタニティ・ハラスメントを防ぐ～	ある会社のハラスメント相談員がマタハラに悩む女性社員から相談を受けたことをきっかけにマタハラに関する知識を深め、周囲に理解と解決策を示していく内容となっています。	実写	26分		2015
28	職場における人権問題	新・人権入門	(収録テーマ、パワハラ・セクハラ・女性活躍推進、障がい者への配慮、外国人との共生、表現と人権、自他尊重コミュニケーション、多様性尊重トレーニング、LGBT、同和問題など) 職場でありがちな人権のトラブルを16話のショートドラマとして再現。自分がそのシーンに遭遇したらどのような行動がとれるのか?視聴者とドラマの出演者が共に学び、悩み、考えることができる教材です。	実写	25分		2014
29	部落差別(同和問題)	部落の心を支えたいシリーズ 第27巻 出会いから学ぶ	人は人との関わりなくして生きることはできない。マイナスの出会い、プラスの出会い、…そして、出会いが人を変え人生を豊かに作り上げていく。高田美樹(29)、高校での生涯の仲間との出会い…母方の祖父との18年目の出会い直し…働く現場で体験した様々な差別…それらを全て養分に転換し、しなやかに生きる。暗・重・辛を明・軽・楽に変える新世代の誕生を感じる教材です。	実写	29分		2015
30	職場における人権問題	なぜ企業に人権啓発が必要なのか	企業にとっての人権啓発とは何なのでしょう。頭では差別や偏見なく、人権に配慮して行動しなければならないと知っていると思いますが、では、自分の日々の業務の中で何ができるのでしょうか。具体的な人権課題を並べ、人権啓発を考えるためのヒントを企業を舞台に、日常の会社生活の一コマを切り取ったわかりやすいドラマとして構成し、あらためて考えていただくための素材として活用いただける教材です。	実写	22分	○	2014
31	人権全般	イマジネーション ～思う つながる 一歩ふみだす～	いじめを受けている人、いじめをしている人、部落差別を受けている人、差別をしている人、発達障害のある人、発達障害のことを誤解している人、そして、それらの問題は「自分とは関係ない」と思っている人。あなたはどうか。何気ない日常の中で、ほかの人の「心」を想像することをおろそかにしていませんか。いじめのサインに気づくことはできるのか。いじめをなくすために、できることはあるのか。同和問題とどう関わっていけばいいのか。発達障害の人たちと共に生きるために、どのように向き合うことが必要なのか。まず「想像」すること、相手のことを知ること、思うこと。そこから人と人がつながる。互いが人権を尊重しあって生きていくために、一歩をふみだして行動する。あなたはイマジネーションできていますか。	実写	34分	○	2013

番号	ジャンル	タイトル	内容	形式	時間	DVD 活用 ガイド	制作年
32	インターネットによる人権侵害	インターネットと人権～加害者にも被害者にもならないために～	インターネットは、私たちの生活を豊かにするとともに欠かすことのできないものになっています。しかし一方で、インターネット上の人権やプライバシーの侵害につながる行為は後を絶たず、近年特にネットいじめや子どもたちをターゲットとした犯罪が大きな社会問題となっています。また、インターネットに関する知識や意識が十分でない中学生や高校生は、被害者になるだけでなく、意図せず加害者にもなることが少なくありません。本DVDは、主に中高生やその保護者、教職員を対象に、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用法・対策について、わかりやすくまとめました。	実写	30分	○	2016
33	外国人の人権	外国人と人権 違いを認め、共に生きる	我が国に入国する外国人の増加に伴い、言語、宗教、習慣等の違いから、外国人をめぐる様々な人権問題が発生していることから、こうした状況を改善するため、人権啓発担当者の研修や一般市民を対象とする人権教室等において使用することにより、外国人の人権に関する理解や関心を深めることを目的としています。	実写	33分	○	2016
34	高齢者の人権	防ごう 高齢者虐待～日常の介護から考える～	高齢化の進む現代社会において、親や年老いた夫、妻の介護は、多くの人にとって避けて通れない問題となっています。日常の会議の中で思い通りにならず、弱い立場の高齢者を心ならずも虐待してしまうことは、誰にでも起こりうるかもしれません。動きながら認知症の親の介護をしている2つの事例を老老介護の話も含めドラマで描いていきます。どのような場面で虐待をしそうになるかを示すことで、視聴者が虐待発生を未然に防ぐにはどうすればいいかを考え、理解できることを目的に制作しています。	実写	28分		2016
35	障がいのある人の人権	秋桜（コスモス）の咲く日	「違い」を認めないことによって、差別は始まるといえます。人はそれぞれ違うものなのに、違うというだけでその人を排除してしまう傾向が人間にはあります。違いを理解し、認め合うことが大切であることはもちろん、本当にすべての人の人権が尊重される社会とは、それぞれの違いを活かすことのえきる社会だといえるのではないでしょうか。この映画は、「目に見えにくい違い」の1つとして発達障害をとりあげています。発達障害のある人の生きづらさや痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々と重ね、「共に生きることの喜び」を伝えるための教材として制作しています。	実写	34分		2014
36	人権全般	家庭の中の人権 カラフル Colorful	両親と人生の巣立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通じて、家庭の中にある人権課題を取り上げました。1人ひとりが「人権」に対する意識と知識を高め、家庭内で話し合うきっかけとして役立てたいです。	実写	31分	○	2014
37	人権全般	人権は小さな気づきから	いじめ問題・子どもの人権・障がい者の人権・風評被害の問題・虐待問題・女性の人権・高齢者の人権・病気を患った人の人権・・・私たちの生活に身近な人権問題について話し合える内容です。	実写	34分		H27購入
38	女性の人権／職場における人権問題	女性の人権シリーズ 職場いじめは許さない！ ～職場のモラル・ハラスメント～	主人公(男性)の職場では、部下の男性が交際を断った女性に対して、仕事にかこつけて、いびりやイジメを行っていた。女性は主人公に相談するが、自分自身が自分の妻への人権意識に欠けており、職場ではよくあることだと、その女性の苦しみを受け止めようとしないう。主人公は労務担当者から、コンプライアンスへの無理解や、女性への人権意識の低さを自覚させられる。	実写	19分		H27購入
39	感染症患者等の人権	人権アーカイブ・シリーズ ①ハンセン病問題～過去からの証言、未来への提言～（人権教育・啓発担当者向け） ②家族で考えるハンセン病（一般向け）	①ハンセン病問題～過去からの証言、未来への提言 ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめた啓発映像です。 ②家族で考えるハンセン病 ハンセン病問題に焦点を当てた啓発映像です。 ドラマを中心に、関係者の証言や解説等を交えて分かりやすく簡潔にまとめています。	実写	① 56分 ② 20分	○	2015

番号	ジャンル	タイトル	内容	形式	時間	DVD 活用 ガイド	制作年
40	部落差別(同和問題)	人権アーカイブ・シリーズ ①同和問題～過去からの証言、未来への提言～(人権教育・啓発担当者向け) ②同和問題 未来へ向けて(一般向け)	我が国固有の人権問題である同和問題に焦点をあて、国や地方公共団体、企業等のさまざまな団体における人権教育、啓発担当者が身につけておくべき同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の証言や解説等をわかりやすく簡潔にまとめた啓発担当者向け(60分)と、一般市民向け(19分)の2つの映像から成り立っています。	実写	① 19分 ② 60分	○	2014
41	性的マイノリティの人権	あなたが あなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権	性・セクシュアリティはとでも多様です。しかし、それをしっかり理解している人は多くなく、性的マイノリティの方々の多くが生きづらさを感じています。誰もがありのままを受け入れられ、自分らしく生きることができる社会を実現させるためには、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。この教材は、性的マイノリティについて人権の視点で理解を深めることを目的としています。	実写	30分	○	2014
42	部落差別(同和問題)	部落の心を支えたいシリーズ 第15巻 夫婦で差別と闘います!	琵琶湖の辺、結婚3年の石井夫妻。 部落出身の妻と部落外の夫は結婚差別を契機に人権問題について提案する内容です。	実写	30分		2010
43	人権全般	人権を考えるシリーズ くらしの中の人権問題(家庭編)	親として当然と、子供の形態を見る親と、勝手に見ないでと怒る子ども。果たして子供のプライバシーを優先すべきか。座談会では、子供のしつけと虐待の境界線について話し合います。また家庭での男女の役割分担は、差別につながるののかを考えます。ドキュメンタリーではDV被害者が、どのような人権侵害があったかを語ります。老人問題では、家庭の中でも孤立する老人の孤独とコミュニケーションの大切さを伝えます。	実写	25分		2011
44	人権全般	家庭の中の人権 生まれ来る子へ	人は皆、幸せになるために生きています。その一方で、誰かを傷つけ、排除し、幸せになる権利を侵害しています。本作品では、「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回りにおける人権問題をクローズアップし、気づくこと、そして、行動することの大切さを描いています。	実写	25分		2013
45	職場における人権問題	職場の人権 ～相手のきもちを考える～	立場や条件の異なる仲間と、互いの人権を尊重しながらより良い職場環境を作るためにはどうすればよいか。本作品はパワハラやセクハラ、コミュニケーション不足で起こるトラブルを防ぐために「相手のきもち」を理解することの重要性を取り上げています。	実写	27分		2008
46	人権全般	探梅 春、遠からじ	人権課題の多くは、人を排除する意識から生まれ、人が孤立することで深刻化していきます。しかし、「困ったときはお互い様」。その気持ちが人を温かく結び付け、助け合う社会へと導きます。 私たちは、「排除」や「孤立」を生み出す社会ではなく、互いに違いを認め、支え合い、あらゆる人を包み込む社会をつくっていきたくと考えています。 本作品では、北九州市が展開する「いのちをつなぐネットワーク」を取り上げながら、「包み込む社会」に焦点を当て、人と人のつながりや助け合いの根底となる人権尊重について取り上げています。	アニメ	40分		2010
47	人権全般	今、地域社会と職場の人権は!	「増え続ける高齢者の問題」「子育てする女性の問題」「パワハラ・セクハラの問題」「同和問題」に焦点を当て、誰もが地域と職場で、自分の持っている能力や個性を発揮し、生きがいを持って働ける環境づくりの大切さを問いかけていきます。	実写	36分		2012
48	職場における人権問題	それぞれの気持ちそれぞれの立場	年代や経験、価値観の異なるメンバーそれぞれがどのような思いを持っているのかを描き、コミュニケーションの重要性やダイバーシティの考えに沿って問題解決のヒントを示していきます。	実写	28分		2011
49	部落差別(同和問題)	差別意識の解消に向けて <第1巻・一般向け> 人権のまちづくり	家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、同和地区やそこを含む校区にある物件を避ける人が、今も多くいるのはなぜでしょうか。今日の部落差別は、土地を媒介にした差別だと言われ、「同和地区の土地に対する忌避意識」が根本にあります。 いま、地区内外の人たちがより良い暮らしをするために生活現場で協働して差別意識の解消に向けて「人権のまちづくり」に取り組んでいます。大阪府内の2つの人権のまちづくりの現場を訪ね、まちづくりをとおして差別や偏見の解消に取り組む人々の思いを伝えます。	実写	29分	○	H24購入

番号	ジャンル	タイトル	内 容	形式	時間	DVD 活用 ガイド	制作年
50	部落差別(同和問題)	差別意識の解消に向けて <第2巻・企業向け> 宅地建物取引における土地差別	大阪府内で実際にあった宅地建物取引での差別事象をドラマで再現し、実態のない噂や風説に基づいて温存されてきた同和地区に対する忌避意識が、自分の利害に関係する宅地建物取引に直面した時、どのように具体的な差別行為となって現れるのかを考えてみます。また、宅地建物取引業のみなさんへのインタビューをとおして、生の声を紹介しています。 実際の宅地建物取引において人権問題に直面したときに、どのように対処すべきか、そして、住宅という人々の生活基盤を提供する重要な職務に携わるみなさんの人権意識の高揚がいかに大切かを、映像をととしてともに考えます。	実写	22分	○	H24購入
51	部落差別(同和問題)	差別意識の解消に向けて <第3巻・行政向け> 土地差別問題を考える	大阪府内で実際にあった宅地建物取引での差別事象をドラマで再現し、実態のない噂や風説に基づいて温存されてきた同和地区に対する忌避意識が自分の利害に関係する宅地建物取引に直面した時、どのように具体的な差別行為となって現れるのかを考えます。 そして、住民や業者から「購入予定の不動産の所在地が同和地区かどうか」、「建売住宅の計画地が同和地区の隣接地かどうか」の問い合わせを受けた時の対応方法の一例をケーススタディで紹介し、行政職員として土地差別にかかわる人権問題に直面した時、どのように対応すべきかを、自分自身の問題として考えます。	実写	23分	○	H24購入
52	部落差別(同和問題)	部落の心を支えたいシリーズ 第14巻 人権感覚を磨きませんか	沖縄出身の父と部落出身の母の下徳島県で生まれ育った大滝さん。心理テストや自筆のマンガを使ったユニークでユーモラスな講演が人権問題を分かりやすく説き起こす作品です。	実写	30分		2010
53	拉致被害者等の人権	拉致～許されざる行為～北朝鮮による日本人拉致の悲劇	1970年頃から80年頃にかけて、北朝鮮による日本人拉致が多発しました。現在、17名が政府によって拉致被害者として認定されています。拉致問題は、我が国の国家主権及び国民の生命と安全に関わる重大な問題です。拉致が行われた目的や政府の取り組み等についてわかりやすく説明しています。	実写	21分		2007